

目次

口 絵

刊行のことば……………松本市長有賀正

監修のことば……………東京大学名誉教授 金井 圓
文学博士

緒 言

凡 例

目 次

第一章 近世社会のはじまり……………一

第一節 豊臣政権と信濃……………二

一 豊臣秀吉の天下統一と信濃……………二

豊臣秀吉の天下統一と信濃

二 小笠原貞慶の深志回復と支配……………四

深志城の回復 反小笠原勢力の駆逐 小笠原貞慶の領国支配 石川数

正と貞慶父子

三 石川氏の入封とその政治……………一四

石川氏の入封 石川氏の支配 石川康長の改易

第二節 松本城の築城……………三

一 小笠原貞慶と松本城……………三

小笠原貞慶と松本城

二 石川氏の城郭の整備……………三

天守閣の築造 城下町の拡充

第三節 徳川政権の成立と松本……………二七

一 関ヶ原の合戦……………二七

関ヶ原の合戦

二 小笠原氏の政治……………三〇

小笠原氏の政治 小笠原氏と大坂の陣 転封の事情

第四節 領主の変遷とその政治……………三七

一 戸田（松平）氏の政治……………三七

戸田氏の入封 組制度の成立 寛永検地 城下町の経営

二 松平氏の政治……………四〇

	天守の修造	松本銭の鑄造	
三	堀田氏の政治	堀田氏の政治	四六
四	水野氏の政治	正保国絵図と元禄国絵図	四七
		検地と騒動	
五	東西五千石の成立	東西五千石と西五千石の分立	五三
		西五千石	
		東三千石領と二つの知行所	
		領主の異動と	
		堀原・百瀬知行所の展開	
第五節	検地と農村		六六
一	郷から村へ		六六
	天正の検地と郷村	慶長の検地	
		寛永の検地と近世の村	
二	慶安の検地		七三
	慶安の検地帳	検地条目	
	げ札	検地と村の景観	
		斗代下げ再検地	
		屋敷免と屋丁役	
		家中名請	
		検地と下	
三	年貢制度の成立		九三
	糶納めと石高	松本藩領の年貢	
		東西五千石領の年貢	
第六節	諸往還の成立		一〇三

四	領地の分布	……………	一五七
	松本藩領	……………	
	幕府領	……………	
	旗本領	……………	
五	支配機構	……………	一六三
	水野氏時代の職制	……………	
	戸田氏時代の職制	……………	
六	村支配	……………	一六七
	目安と法度による支配	……………	
	百姓所持地への規制	……………	
	組手代から大庄屋へ	……………	
	村のしくみ	……………	
七	宗教政策	……………	一八二
	宗教政策	……………	
	寺請制度の成立とそのしくみ	……………	
	近世社会と寺院	……………	
第二節	城下町の発展	……………	一九一
一	松本城下町の成立と発展	……………	一九一
	城下町のしくみ	……………	
	松本城下町の建設	……………	
	武家地と町人地	……………	
	町割と屋敷割	……………	
	城下町と寺社	……………	
	商人町と職人町	……………	
	城下町の川と橋	……………	
	城下町の井戸と水道	……………	
	城下町の明地と火除地	……………	
	城下町の施設木戸と番所	……………	
	城下町の施設	……………	
	十王堂	……………	
	城下町の施設高札場	……………	
二	町のしくみ	……………	二三五
	町と村のちがい	……………	
	町方の行政機構	……………	
	町役人と町政	……………	
	町定め	……………	
	五人組	……………	
	と十人組	……………	
	伝馬役と人足役	……………	
	自身番の勤務	……………	
	宿場町としての機能	……………	

三 武士と町人、元禄文化	二四九
--------------	-----

「信府統記」と武士の学芸 武家と分限 武家の住まいと町人の住まい
武家と町人

第三節 農村の姿	二六六
----------	-----

一 慶安以後の検地	二六六
-----------	-----

元禄検地 新田開発と検地 安永の新切総検地 天保五年の水論検地

二 用水と溜池	二八〇
---------	-----

おもな灌漑用水 用水堰の開さくと普請 川除普請 溜池の築造
川除論と灌漑用水論

三 林野と山論	二九八
---------	-----

林野の種類 入会林野と入会規定 入会山論

四 年貢と農民	三〇九
---------	-----

松本藩領の年貢 幕府領の年貢 幕府領の皆石代納制 諸家領の年貢
助郷

五 小百姓の村へ	三四〇
----------	-----

村にすむ人々 村の姿 村絵図にみる村の姿 村明細帳にみる村の姿
今井村明細帳

六 村の人口	三五七
--------	-----

	安永の改革	寛政の改革	文政期の改革	天保の改革	戸田図書事 件
四	松本御預所の支配
	寛政の改革と困窮	天保の飢饉と石代値段	天保の改革		
五	高島・高遠藩政と松本
	高島藩の支配と三千石領	領主の領内巡見と東西五千石	高島藩の財政		
	窮乏と献金政策	高遠藩の財政危機と藩政改革			
第二節	産業の発展と流通経済
一	自給的農業から商業的農業への転換
	松本人の経済的いとなみ				
二	農業の発達
	稲作の進歩	埴原村田植作業図にみる農作業	肥料の改良	農事日記	
	の成立	村の一年	商業的農業の展開		
三	村々の産業
	村々のあたらしい産業	諸稼ぎの展開	諸稼ぎと社会の変化		
四	城下町の産業
	城下町松本の形成と商工業	松本町の商工業	町と村の商工業の対立		
五	中馬稼ぎと牛稼ぎ

六	犀川通船・橋梁	五二〇
	中馬と手馬	
	東五千石の村々と村井宿	
	牛稼ぎと岡田宿	
	通船願いの経過	
	通船開始と通船差押え	
	通船再規定	
	その後の訴訟	
	と規定	
	通船状況	
	橋梁	
第三節	村の生活の変化	五三四
一	村の人口	五三四
	人口	
	家族構成	
	年齢構成	
	婚姻圏	
二	村の生活	五五一
	衣食住	
	年中行事	
	婚姻	
	葬送	
	保養と温泉	
三	村や町での争い	五八二
	村方騒動とは	
	袴出入	
	村役人入札をめぐる	
	村入用不正をめぐる	
	身分制度の形成	
	松本一件	
四	助郷の実態	六〇〇
	一八世紀の助郷	
	一九世紀の助郷	
	助郷の費用	
	助郷をめぐる問題	
第四節	災害と騒動	六二四
一	水害・火災・地震・旱ばつ	六二四
	地域の災害年表	
	諸記録にみる火災と水害	
	善光寺大地震	
	明和の旱ばつ	
	化政期の旱ばつ	

二 飢饉	六三三
天明の飢饉	六三三
文政八年の凶作	六三三
飢饉を記録する人々	六三三
天保の飢饉	六三三
三 騒動	六四九
明和の中入騒動	六四九
天明上信騒動とその対応	六四九
埴原村騒動	六四九
百瀬知行所	六四九
騒立一件	六四九
赤養騒動と民衆意識の高まり	六四九
第五節 文化の交流と発達	六六八
一 町の人口	六六八
町方の家数と人口	六六八
武家の屋敷数と人口	六六八
町人の家族構成と婚姻圏	六六八
町人の生活	六六八
二 治城百年祭と城下町の変貌	六八四
治城百年祭	六八四
城下町の変貌	六八四
城下町のにぎわい	六八四
繁栄の影に	六八四
三 文芸圏と商業流通圏	六九五
文人の来松と文芸の展開	六九五
文人たちと文芸書	六九五
文化圏と経済圏	六九五
伊能	六九五
忠敬の測量	六九五
四 娯楽	七二三
子ども	七二三
村芝居	七二三
若者組	七二三
賭け事	七二三
第六節 信仰と祭礼	七三六
一 堂	七三六

	分布と種類	役割	
二	講	伊勢講	金毘羅講・三峯講・秋葉講
			庚申講など
三	修験	修験の展開	「日本九峰修行日記」
四	祭礼	城下町の祭礼	沙田神社の御柱祭
			お船祭り
五	流行神と疫病神	流行神の現象	疫病神の祀り
六	寺社参詣と庶民の旅	伊勢参りと旅	善光寺参り
			諸参詣の旅
七	観音信仰と巡礼御詠歌	観音信仰	巡礼信仰と御詠歌
第七節	教育	一	武士の学問
			戸田家の教学
			崇教館
			松本藩学
			兵学武術
二	庶民教育の発達		

第四章 幕末動乱と松本……………七九五

第一節 黒船来航と松本……………七九六

一 江戸湾警備と松本……………七九六

江戸での見聞 異国への好奇 対外的危機と松本藩

二 開港と経済の変動……………八〇四

開港と貿易 開港と物価の高騰

三 産物会所の再編……………八一〇

松本藩の産物会所 豪農層の産物会所構想 開港後の産物会所

第二節 幕末の志士と松本……………八二六

一 安政の大獄……………八二六

松本藩戸田家と京都 安政期の政局 近藤茂左衛門と山本貞一郎 安

政の大獄と近藤兄弟

二 東禅寺事件……………八三八

松本藩の江戸守衛と東禅寺事件 伊藤軍兵衛 事件の波紋

三 水戸浪士の通行……………八三六

水戸浪士の信濃いり	和田峠・樋橋の戦い	民衆の対応
第三節 幕末の政情と人々の負担	八四五

一 和宮下向と助郷	八四五
-----------	-------	-----

和宮の下向 参勤交代の緩和と助郷の見直し

二 長州征伐	八五三
--------	-------	-----

信濃諸藩の動向 松本藩の出兵 軍夫・兵賦

三 献金・御用金	八六一
----------	-------	-----

幕末の領主財政 御用金と村々の負担

第四節 民衆思想と木曾騒動	八六六
---------------	-------	-----

一 民衆思想	八六六
--------	-------	-----

幕末の政情と民衆 さまざまな「世直し」思想

二 木曾騒動	八七二
--------	-------	-----

信濃の世直し状況 木曾騒動と松本平 騒動の意義

三 お札降り	八八四
--------	-------	-----

お札降り・ええじゃないか 信州各地の騒ぎ 松本とその周辺

第五節 明治新政への対応	八九三
--------------	-------	-----

一 官軍の信濃通行	八九三
-----------	-------	-----

東山道軍の信濃いりと松本 偽官軍事件	
二 飯山戦争と北越戦争への出兵	九〇〇
飯山戦争 北越戦争への従軍	
三 版籍奉還と廃藩置県	九〇五
旧幕府領の転換 版籍奉還と松本藩の藩制改革	
松本藩の廃仏毀釈運動	
廃藩置県	
付録 掘りだされた城下町	九一八
武家屋敷跡の発掘調査	
町屋跡の発掘調査	
家屋の基礎工法	
城下町の出土遺物	
度量衡・通貨表	九三四
歴史編Ⅱ（近世）執筆者	九三五
歴史編Ⅱ（近世）編さん関係者	九三七
あとがき	九四一